

ボーイング 737-800 型機の導入について

スカイネットアジア航空株式会社(本社:宮崎県宮崎市、代表取締役社長:伊東正孝、以下 SNA)は、今般、新造機ボーイング 737-800 型機(以下、B737-800 型機)の導入について決定し、去る 2 月 8 日、AWAS(本社:アイルランド・ダブリン、President and CEO:Franklin L. Pray)と新造機 2 機のリース契約を締結いたしました。2011 年 6 月及び 10 月に受領予定で、SNA にとって初めての新造機導入となります。

昨今の厳しい経営環境の中ではありますが、SNA では羽田空港の増枠を活かしながら路線展開を着実に進め、持続可能な事業基盤の確立と成長性・将来性を確保するための経営戦略を推し進めていきます。

今回 SNA が新たに導入する機材は、B 737 型機のなかでも次世代(Next Generation)型と言われるシリーズのひとつで、従来機を基盤として、様々な改善が施され、最先端のテクノロジーが導入されています。さらに、燃費が良く、低騒音で、地球環境にも優しい航空機となっています。

B737-800 型機は、日本国内でも他社により 2005 年以降運航されていますが、今回導入する機材には、2010 年後半よりボーイング社が提供する BSI(Boeing Sky Interior)の導入を日本の航空会社として初めて決定いたしました。BSI は、ボーイング社の最新鋭航空機 787 ドリームライナーのために開発された最新の客室インテリアをもとに開発されています。客室内の照明には、LED(発光ダイオード)を使用し、座席上の共用収納棚は従来型よりもよりスタイリッシュでなおかつ限られたスペースで最大限の容量を確保したデザインになっています。また客室内の騒音の更なる軽減も図られています。

最新式の航空機を導入することにより、オペレーションの品質が更に向上し、今まで以上にお客様が安全・快適に空の旅をお楽しみいただけることと確信しております。ご期待ください。

【運航諸元】

		B737-800 型機	B737-400 型機(現在)
寸法	全幅	35.8m	28.9m
	全長	39.5m	36.4m
	全高	12.5m	11.1m
性能	巡航速度(35,000 フィート航行)	0.78 マツハ	0.74 マツハ
	実用上昇限度	12,500m	11,300m
	航続距離	5,665km	3,700km

Skynet Asia Airways

www.sna.jp

スカイネットアジア航空

<参考>

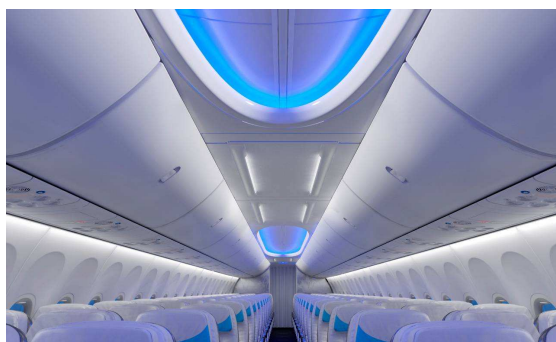
資料① : B737-800 型機



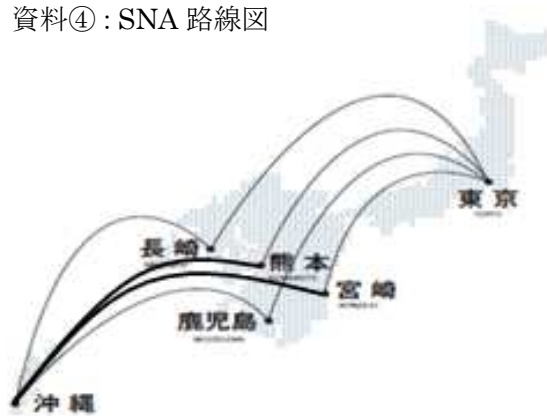
資料② : Signing Ceremony



資料③ : BSI イメージ



資料④ : SNA 路線図



◇2002年8月宮崎-東京線就航開始

◇現在、九州(宮崎・熊本・長崎・鹿児島)－東京路線及び九州(上記同様)－沖縄路線の合計8路線23往復を運航

【AWAS 概要】

1. 社 名 : AWAS (航空機専門リース会社)
2. 代 表 者 : President and CEO Franklin L. Pray
3. 所 在 地 : アイルランド共和国・ダブリン

【SNA 概要】

1. 社 名 : スカイネットアジア航空株式会社
2. 代 表 者 : 代表取締役社長 伊東 正孝 (いとう まさたか)
3. 所 在 地 : 宮崎県宮崎市